tagle

福島発、
スポーツの
怪我予兆を可視化する

Masleter®（マスリーター）を活用した生体計測評価データ基盤の実用化に向けて

令和8年度 福島イノベ企業合同メディア発表会

タグル株式会社　代表取締役　遠藤 洋道

2026.7.9

タグル株式会社は、
南相馬発のスポーツテック企業です

スポーツ選手の怪我予兆可視化に取り組み、
アスリートという資産を守る。

01

福島県南相馬市
を拠点

02

スポーツ選手の
怪我予兆可視化に取り組む

03

非侵襲ロボット触診センサ
Masleter®(マスリーター)
を開発

04

プロスポーツ現場で
実証を推進

tagle

怪我は、
選手の未来とチームの可能性を奪う

スポーツ現場では、怪我の兆候を早期に捉えることが難しい

01

選手本人の感覚だけでは
小さな変化に気づきにくい

02

トレーナーの経験・勘に
依存する部分がある

03

兆候を見逃すと
離脱・戦力低下・
機会損失につながる

04

怪我の予防には
日々のコンディション変化を
客観的に見る仕組みが必要

怪我のリスクは、**見える化**で変えられる。**予防が未来をつくる。**

短時間・非侵襲・データ化により、現場で使える測定へ

tagle

短時間 × 非侵襲 × データ化

セルフでも測定しやすく、継続的なコンディション把握を支援

1 1部位あたり短時間で測定

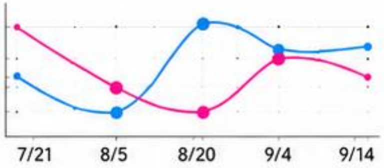
10秒

素早く測定が完了

2 選手の負担が小さい

皮膚表面から計測する非侵襲な測定方法

3 測定データを時系列で確認できる



4 トレーナーの判断を支援する

客観的なデータでコンディション評価をサポート

5 将来的には個人ごとの基準値・変化量を活用

個別最適なコンディション管理とパフォーマンス向上へ

主な測定部位

主要な下肢筋群のコンディションを効率的にモニタリング

短時間・非侵襲・データ化で、スポーツ現場にフィットする新しい測定体験を提供します。

プロスポーツ現場で、活用可能性を検証

tagle

サッカー・バスケットボール・アメリカンフットボール・競輪など、
複数のプロスポーツ現場で実証を推進

プロスポーツチーム等で実証

現場での運用を通じて、
測定の実用性や導入の
しやすさを検証

トレーナーとの会話のきっかけ

測定結果が、選手と
トレーナーの対話を生み、
コンディション把握を支援

選手のセルフコンディション管理意識の向上

数値化により、自分の状態を
客観的に捉える意識づくりに貢献

怪我予防に向けたデータ蓄積

日々の変化を記録し、
将来的な怪我予防につながる
データ基盤を形成

データで選手の可能性を引き出し、より良いパフォーマンスと未来を支える

福島・南相馬発で、実証から事業化へ

プロスポーツ現場での実証、事業化に向けた連携、地域での展開が広がっています。

01 プロサッカー合宿での実証

- Jリーガーの合宿で、Masleter®（マスリーター）を用いた測定実証を実施
- 継続的な実証機会も調整中

02 事業化に向けた連携拡大

- 金融機関・保険会社等のネットワークを通じ、
- 大手スポーツメーカーやプロスポーツチームとの接点が拡大

03 地域での実装検討

- 浜通りのアスリート高校生から、実証に関する問い合わせ
- 南相馬市産業創造センターで、意見交換・実機体験を予定
- 地域クリニックとの連携も検討中

身体の可能性を、
データでひらく。

Masleter®
マスリーター

補助事業で開発する内容

生体計測評価データ基盤の実用化を進める

測定データを蓄積し、現場で活用できる評価・表示・レポート機能へ

01 測定データの蓄積
Masleter®(マスリーター)等で取得したデータを蓄積

02 選手ごとの経時変化の把握
個人ごとの変化を時系列で見える化

03 トレーナー・チーム関係者向けの表示
立場や権限に応じて、必要な情報をわかりやすく表示

04 評価レポートの生成
現場で使いやすい評価レポートを生成

05 将来的な怪我予兆・コンディション管理への活用
予兆把握や日々のコンディション管理に活用

令和8年度 基盤整備フェーズ
- 測定データを蓄積する基盤の整備
- 個人別の経時変化を把握する仕組みの構築
- 評価レポート生成機能の整備

令和9年度 現場活用フェーズ
- トレーナー・チーム関係者向け表示の高度化
- 評価・表示機能の実運用化
- 将来的な怪我予兆・コンディション管理への活用を推進

※特許明細書の構想を踏まえ、現場で使えるデータ基盤として実用化を進めます

FUKUSHIMA 5 STARSをはじめ、県内スポーツチームと連携したい

福島県内のプロスポーツチームと連携し、選手のコンディション管理、
怪我予兆の可視化、地域スポーツの発展に貢献したい。

将来構想

福島を起点に、東北のスポーツチームをつなぐ

tagle

選手のコンディションデータを地域で活かし、怪我予防とパフォーマンス向上を支える仕組みへ

福島から、東北のスポーツを支える連携モデルへ

A regional sports care vision from Fukushima to Tohoku

① 弊社プロダクト

Masleter®(マスリーター)

生体レオロジー計測で選手の
コンディションを可視化

生体レオロジー計測

データ可視化

怪我予防サポート

② FUKUSHIMA 5 STARS
（福島のスポーツ連携ハブ）

福島のチームがひとつになり、
データを活用して選手を支える

- データ蓄積・分析
- 科学的サポート体制
- 選手の成長を最大化

③ 東北への展開

福島発の仕組みを東北各地へ広げ、
地域全体で選手の未来を支える

福島を起点に、地域のスポーツチームと連携し、選手のコンディションデータを蓄積・活用。
怪我予防とパフォーマンス向上を支える広域連携の仕組みづくりを目指します。

※本資料は将来の構想を示すものであり、
現在の成果を保証するものではありません。

スポーツの奇跡を、
ケガに奪わせない。
タグル株式会社は、福島・南相馬から、
スポーツ選手のコンディション管理と怪我予兆の可視化に挑戦します。
県内の皆様と連携し、福島発のスポーツテックを東北・全国・世界へ広げていきます。
タグル株式会社